

以下において考察する数列の項は、すべて実数であるとする。

(1) 等比数列  $\{s_n\}$  の初項が 1, 公比が 2 であるとき

$$s_1 s_2 s_3 = \boxed{\text{ア}}, \quad s_1 + s_2 + s_3 = \boxed{\text{イ}}$$

である。

(2)  $\{s_n\}$  を初項  $x$ , 公比  $r$  の等比数列とする.  $a, b$  を実数 (ただし  $a \neq 0$ ) とし,  $\{s_n\}$  の最初の 3 項が

$$s_1 s_2 s_3 = a^3 \dots\dots\dots \textcircled{1}$$

$$s_1 + s_2 + s_3 = b \dots\dots\dots \textcircled{2}$$

を満たすとする. このとき

$$xr = \boxed{\text{ウ}} \dots\dots\dots \textcircled{3}$$

である. さらに②, ③を用いて  $r, a, b$  の満たす関係式を求めると

$$\boxed{\text{エ}} r^2 + (\boxed{\text{オ}} - \boxed{\text{カ}}) r + \boxed{\text{キ}} = 0 \dots\dots\dots \textcircled{4}$$

を得る. ④を満たす実数  $r$  が存在するので

$$\boxed{\text{ク}} a^2 + \boxed{\text{ケ}} ab - b^2 \leq 0 \dots\dots\dots \textcircled{5}$$

である.

逆に  $a, b$  が⑤を満たすとき, ③, ④を用いて  $r, x$  の値を求めることができる.

(3)  $a = 64, b = 336$  のとき, (2) の条件①, ②を満たし, 公比が 1 より大きい等比数列  $\{s_n\}$  を考える. ③, ④を用いて  $\{s_n\}$  の公比  $r$  と初項  $x$  を求めると,  $r = \boxed{\text{コ}}, x = \boxed{\text{サシ}}$  である.

$\{s_n\}$  を用いて, 数列  $\{t_n\}$  を

$$t_n = s_n \log_{\boxed{\text{コ}}} s_n \quad (n = 1, 2, 3, \dots)$$

と定める. このとき,  $\{t_n\}$  の一般項は  $t_n = (n + \boxed{\text{ス}}) \cdot \boxed{\text{コ}}^{n + \boxed{\text{セ}}}$  である.

$\{t_n\}$  の初項から第  $n$  項までの和  $U_n$  は,  $U_n = \boxed{\text{コ}} U_n$  を計算することにより

$$U_n = \frac{\boxed{\text{ソ}} n + \boxed{\text{タ}}}{\boxed{\text{チ}}} \cdot \boxed{\text{コ}}^{n + \boxed{\text{ツ}}} - \frac{\boxed{\text{テト}}}{\boxed{\text{ナ}}}$$

であることがわかる.

(17年 センター本試験 II・B 第3問)

ア	イ	ウ	エ	オ	カ	キ	ク	ケ	コ	サシ	ス	セ	ソ	タ	チ	ツ
8	7	$a$	$a$	$a$	$b$	$a$	3	2	4	16	1	1	3	2	9	2

テト	ナ
32	9

## 【チェック・チェック】

連立方程式 {①, ②} を満たす  $x, r$  は  $a, b$  で表すことができます。ただし,  $x, r$  が実数ということより,  $a, b$  には条件がつけます。この条件が式⑤です。

∑(等差)(等比) の計算では「公比倍して, ひく」が定型です。  $U_n - \boxed{\text{コ}}$   $U_n$  がこの誘導になっています。

### 【解答】

(1) 等比数列  $\{s_n\}$  の初項が 1, 公比が 2 であるとき

$$s_1 s_2 s_3 = 1 \cdot 2 \cdot 2^2 = \boxed{8} \quad \dots\dots (\text{アの答})$$

$$s_1 + s_2 + s_3 = 1 + 2 + 2^2 = \boxed{7} \quad \dots\dots (\text{イの答})$$

である。

(2)  $\{s_n\}$  は初項  $x$ , 公比  $r$  の等比数列であるから

$$\textcircled{1} \iff x \cdot xr \cdot xr^2 = a^3 \iff (xr)^3 = a^3 \quad \dots\dots \textcircled{1}'$$

$$\textcircled{2} \iff x + xr + xr^2 = b \iff x(1 + r + r^2) = b \quad \dots\dots \textcircled{2}'$$

である。①' かつ  $xr$  は実数より

$$xr = \boxed{a} \quad \dots\dots \textcircled{3} \quad \dots\dots (\text{ウの答})$$

である。  $a \neq 0$  より  $r \neq 0$  であり, ②', ③より  $x$  を消去すると

$$\frac{a}{r}(1 + r + r^2) = b$$

$$\boxed{a} r^2 + \left( \boxed{a} - \boxed{b} \right) r + \boxed{a} = 0 \quad \dots\dots \textcircled{4}$$

…… (エ～キの答)

を得る。④を満たす実数  $r$  が存在するので

$$(\text{判別式}) \geq 0 \iff (a - b)^2 - 4a \cdot a \geq 0$$

$$\iff -3a^2 - 2ab + b^2 \geq 0$$

$$\therefore \boxed{3} a^2 + \boxed{2} ab - b^2 \leq 0 \quad \dots\dots \textcircled{5} \quad \dots\dots (\text{ク, ケの答})$$

である。

逆に  $a, b$  が⑤を満たすとき, ③, ④を用いて  $r, x$  の値を求めることができる。

(3)  $a = 64, b = 336$  のとき,

$$\textcircled{4} \iff 64r^2 + (64 - 336)r + 64 = 0$$

$$\iff 4r^2 - 17r + 4 = 0$$

$$\iff (4r - 1)(r - 4) = 0$$

$r > 1$  より

$$r = \boxed{4} \quad \dots\dots (\text{コの答})$$

であり, ③より

$$x = \frac{64}{4} = \boxed{16} \quad \dots\dots (\text{サシの答})$$

である。これより

$$s_n = 16 \cdot 4^{n-1} = 4^{n+1}$$

であり, 数列  $\{t_n\}$  の一般項は

$$t_n = s_n \log_4 s_n = 4^{n+1} \log_4 4^{n+1}$$

$$= \left( n + \boxed{1} \right) \cdot 4^{n+1} \quad \dots\dots (\text{ス, セの答})$$

← 等比数列の定義の確認です。

←  $r$  についての 2 次方程式④が実数解をもつ条件は (判別式)  $\geq 0$  である。

である.  $\{t_n\}$  の初項から第  $n$  項までの和  $U_n$  を求める.

$$U_n = 2 \cdot 4^2 + 3 \cdot 4^3 + 4 \cdot 4^4 + \cdots + (n+1) \cdot 4^{n+1}$$

$$4U_n = 2 \cdot 4^3 + 3 \cdot 4^4 + \cdots + n \cdot 4^{n+1} + (n+1) \cdot 4^{n+2}$$

$U_n - 4U_n$  を計算すると

$$-3U_n = 2 \cdot 4^2 + 4^3 + 4^4 + \cdots + 4^{n+1} - (n+1) \cdot 4^{n+2}$$

$$= 4^2 + \frac{4^2(4^n - 1)}{4 - 1} - (n+1) \cdot 4^{n+2}$$

$$= 4^2 \left(1 - \frac{1}{3}\right) + \left(\frac{1}{3} - n - 1\right) \cdot 4^{n+2}$$

$$= \frac{32}{3} - \frac{3n+2}{3} \cdot 4^{n+2}$$

よって

$$U_n = \frac{\boxed{3}n + \boxed{2}}{\boxed{9}} \cdot 4^{n+\boxed{2}} - \frac{\boxed{32}}{\boxed{9}} \cdots \cdots (\text{ソ～ナの答})$$

であることがわかる.

←  $\Sigma$ (等差)(等比)

← 「公比倍して, 引く」